

新たな保育士確保施策を実施

～安心して長く働き続けることができる職場環境の構築に向けて～

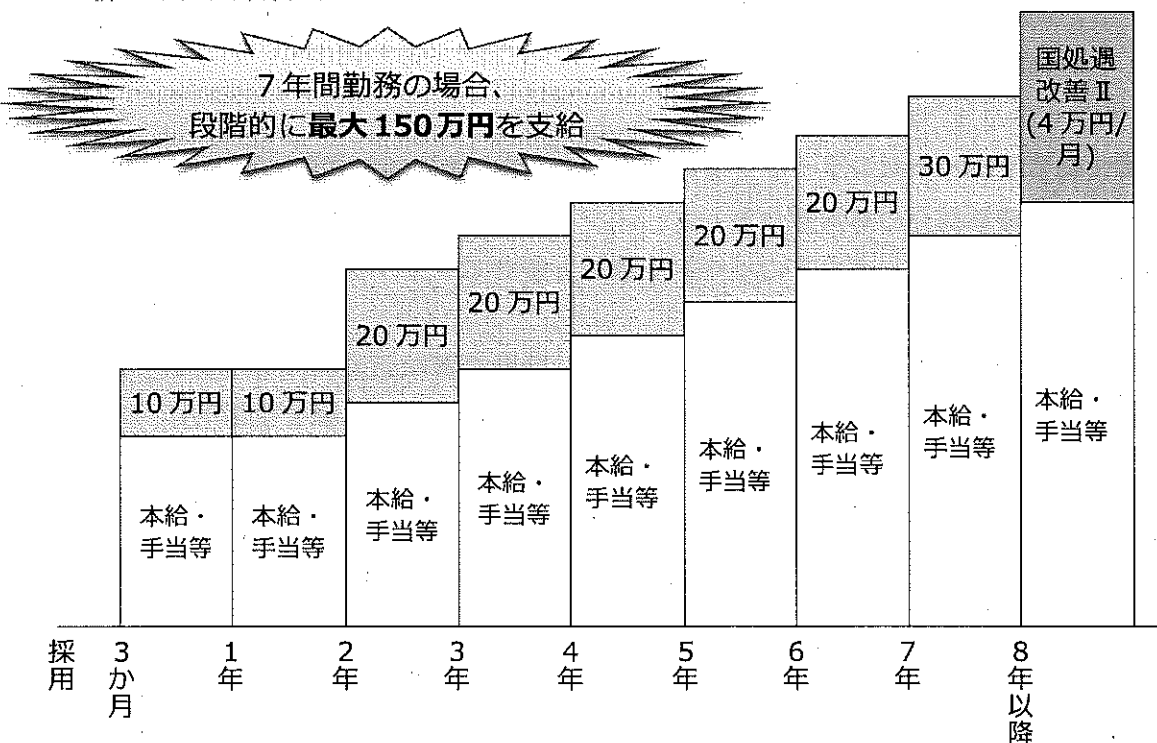
一旦採用された保育士が長く働き続けることができる環境を整えるため、新規採用者だけでなく、中堅保育士に至るまで切れ目のない処遇改善を図るため、本市の私立保育所等に7年間勤務した場合に、最大150万円の一時金を支給するほか、働きやすい職場環境の整備に積極的に取り組む保育所等に助成金を支給するなどの補正予算案を6月議会に提案し、可決後新たな保育士確保施策を実施します。

1 新たな処遇改善 【6月議会補正予算額 80,000千円】

7年間継続して就労した保育士に合計150万円を支給！

市内の私立保育所等で保育士として採用されると、採用後6年経過まで毎年20万円、7年経過すると30万円を支給する方法で、合計150万円の一時金が支給されます。

<新たな処遇改善のイメージ>



2 働き方・休み方の改善に取り組む法人への支援 【6月議会補正予算額 400万円】

働き方や休み方の見直し及び改善に積極的に取り組み、魅力ある職場づくりの構築を目指す保育所等に対し助成金を支給します。

具体的には、従業員の長時間労働の削減や年次有給休暇等の取得促進、離職防止などの項目について、目標及び取組内容を設定し、従業員に周知したうえで、実行した場合に助成金を支給します。

(1) 補助対象者

市内で保育所・認定こども園、小規模保育事業を運営する社会福祉法人等

(2) 補助額

奨励金として10万円を交付

(3) 手続き

計画書の策定・改善宣言 ⇒ 交付決定 ⇒ 取組内容実施（2ヶ月）
⇒ 実績報告 ⇒ 審査 ⇒ 奨励金交付

(4) PR

改善に取り組んだ法人を市HP等で周知。特に優れた事例については紹介。

<他自治体の事例>

東京都…正規職員の働き方について、①長時間労働の削減、年次有給休暇などの取得促進に向けた問題点の抽出、②原因分析と対策の方向の検討、③目標や取り組む内容の設定、④社内周知の4項目を実施する企業に30万円を交付。

さらに、働き方又は休み方の改善に関する制度を就業規則などに明記した企業には、さらに10万円を交付。

大分県…保育現場働き方改革に関する研究会（先行して取り組んでいる施設長及び専門家などを構成員に）を立ち上げ、年5回 職場環境改善策を話し合い、県内全体で優良事例を共有。

3 保育士総合サポートセンター ～6月1日オープン～

保育士等の職業紹介の専用窓口として、インターネットを最大限に活用した求人・求職登録を行い、就職フェアなどのイベント情報と併せてリアルタイムに発信し、求職者と保育所とのマッチングを行います。

また、安心して明石で働いていただけるよう、経験豊富な元公立保育所長が「保育士等就職支援コーディネーター」となり就職相談を受けるなど、就職を全面的にサポートし、事業者へのアドバイスや養成学校へのPR活動も行います。

さらに、地域限定で設置するメリットを生かし、きめ細やかな対応を図ることにより、人材確保を強化します。

- (1) 開設場所 待機児童緊急対策室課室内（市議会棟1階）
- (2) 開所時間 平日 午前8時55分～午後5時40分
- (3) 開設日 平成30年6月1日（金）